

SDGs達成へ 連携協定を締結

豊田市と大日本ダイ

愛知県豊田市と大日本ダイ



原田社長（左）と太田市長

ヤコンサルタントは7日、「SDGs達成に向けたモニタリング及び市政への反映に関する連携協定」を締結した。

同日、市役所で開いた締結式で太田稔彦市長は「協定を有効に活用し、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み、全国の自治体をリードする」と述べた。同社の原田政彦社長は「2030年までのSDGs達成に向けて連携し、次の時代の地域の活動をともに見出だしていきたい」と話した。

市は、国際連合地域開発セ

クター（UNCRD）やSDGsに取り組む企業と連携し、自治体のSDGs達成度を客観的に評価する指標を開発した。市のSDGs達成度の詳細な評価・分析を加速させるため、同指標開発の中心となった同社と協定を結んだ。

協定締結により、市のSDGs達成度の評価・モニタリングやモニタリングの結果分析・市政への反映、市職員・ステークホルダーへの周知や市民への理解度促進、SDGsモニタリングの国内外への普及・推進などに連携して取り組む。

